

とよた市議会だより



目次

■トップインフォメーション 市議会の役割とは	2
■議案説明・討論 条例の一部改正など	4
■議案審議結果	5
■常任委員会 付託案件を審査	6
■一般質問 市政を問う! 18人の議員が質問	8
■トピックス 市議会議員がラグビーワールドカップ2019™をPR など	12

表紙の写真 (議案第96号関連)

中消防署に配備されている救助工作車です。市民の安全安心の確保及び福祉の増進を図るため、消防関係車両を更新します。

定例会号

6月市議会

平成30年8月1日

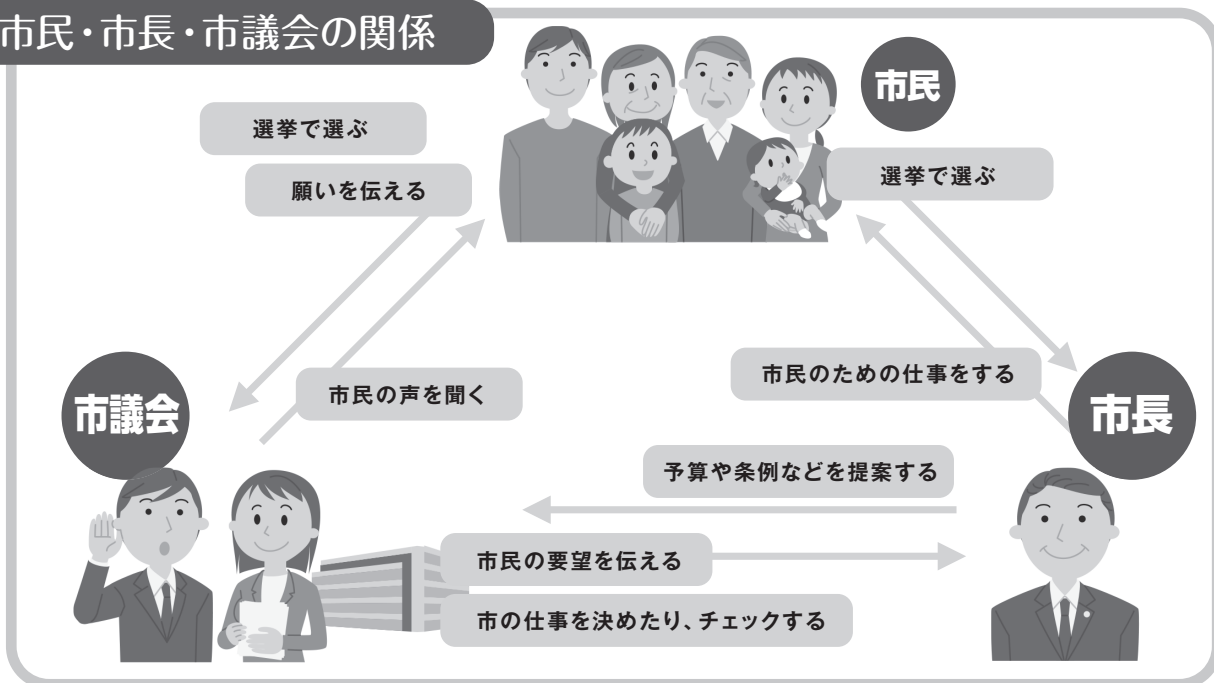


市議会の役割とは

だれもが住み続けたいと思うまちづくりを行っていくには、市民全員で話し合うことが一番良い方法です。しかし、実際に市民全員が集まって話し合うことはできません。

そこで、市民の皆さんが選挙によって自分たちの代表となる人を選んで、その代表者が話し合い、まちづくりを進めていきます。それが市議会の役目です。

市民・市長・市議会の関係



● 議会ではどのように話し合いをしているの

市議会では議会に提出された市の条例や予算※・決算※などの議案※の内容をチェックします。

本会議の限られた時間の中で、議案を詳細まで審査することは大変難しいことです。そこで、委員会という担当を分担し、詳しく話し合いをする会議を作り、その中で、議案をさらに詳しく審査しています。現在、本市では6つの常任委員会(企画総務、地域生活、教育社会、環境福祉、産業建設、予算決算)を設置しており、議案の内容によって、委員会へ付託※しています。

その後、委員会での話し合い(審査)を経て、本会議で最終的に個々の議案について賛成か反対かを明らかにします。

※予算(よさん)…市のお金(税金)をどのように使うか計画を立てたもの
 ※決算(けっさん)…最終的にお金(税金)をいくら使ったか整理したもの
 ※議案(ぎあん)…市議会に提案され話し合われる案件
 ※付託(ふたく)…議案の詳しい話し合いや研究を委員会にゆだねること



それでは、具体的に公園の建設を例に説明します。

公園ができるまで

市議会ではこのように話し合われています。



● 議会はいつ開催されているの

話し合いの場である議会は、定例会が年4回(3・6・9・12月 各25日程度)開かれ、その中で、一般質問や議案質疑※を行い、提出された議案等について慎重に審査し、議決します。

急ぎよ、決定しなければならないことがあった時などは、臨時会を開催する場合があります。

なお、6月定例会の一般質問については8ページから11ページをご覧ください。

※議案質疑…議会に提案された案件を議案といい、その案件について質問することです。

● 実際に議会の様子を見るには

本会議や委員会の様子は、子どもを含めどなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取った後、会場へ出入りできます。

車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴っての傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。

なお、代表質問や一般質問の様子はケーブルテレビやFMラジオで視聴することができます。



条例の一部改正、工事請負契約の締結など30議案を議決

豊田スタジアムの観戦環境が向上します

【議案第83号】工事請負契約の締結(豊田スタジアムピッチ音響設備改修工事)

豊田スタジアムの利用者の観戦環境を改善するため、ピッチ及び観客席用の老朽化した音響設備を改修します。契約金額は4億6,656万円で、完成予定は平成31年3月です。



豊田スタジアム

とよたおいでんバス車両を更新します

【議案第93号】財産の取得(基幹バス)

とよたおいでんバスの市所有車両の約70パーセントが9年を経過しています。老朽化した車両の適切な更新により安全安心なバス運行を行うとともに、運行のサービス拡充を図るため、ノンステップバスを6台購入します。購入金額は、約1億6,367万円です。そのうち、新規に購入する1台は名鉄バス自主路線九久平線の廃止に伴う代替車両として使用します。



基幹バス

討 論

6月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。※発言順に記載

根本美春
諸 派

この時期に調印と批准
を求めることに賛成

議案第71号：反対。豊田市体育施設条例の一部を改正する条例に反対。指定管理者制度全てに反対ではないが、住民の福祉を増進するという目的が達せられるのか疑問。公募を前提に指定管理する本議案には反対とする。

請願第2号：同意。核兵器禁止条約への署名と批准を、政府並びに関係機関に求める意見書の提出を行うもの。条約は現在すでに59か国が調印、10か国が批准。調印と批准を、米朝首脳会談実施後のこの時期に求めることは意味のあることと考え賛成。

板垣清志
自民クラブ

まちづくりが推進される
ことを期待し、賛成

議案第83号：賛成。ラグビーワールドカップに向け老朽化した音響設備の全面更新に合わせて、機器の配置や設置数を適切にし、観戦環境を向上させることで、ラグビーワールドカップを契機とした、まちづくりが推進されることを期待する。

議案第98号：賛成。愛知トリエンナーレなどの大型イベントの開催が予定され、豊田市美術館には多くの来訪者があることが予想される。良質な鑑賞空間により、文化面の情報発信の拠点として役割を担っていくことを期待し、賛成。

塩谷雅樹
市民フォーラム

更なる普及促進
に期待し、賛成

議案第77号：賛成。災害対策費について、防災ラジオの申し込み状況は中山間部などは好調なものの、配布方針に掲げた人の申し込みはやや低い。災害弱者はじめ、必要な市民へ確実な啓発を行い、更なる普及促進になると期待する。

議案第78号～81号：賛成。入札において労働者の給与水準や現場環境の向上につながる、豊田市公契約基本方針を踏まえた効果を確認でき、賛成。豊田市公契約基本方針の実効性を更に高めるために見直すことを期待する。

榎屋小百合
公明党

対話を進める橋渡し
役に期待し、不同意

議案第69号：賛成。生産性向上特別措置法に規定する先端設備に係る固定資産税の課税標準額の特例割合をゼロとすることにより、中小企業が優先的に補助金や資金繰りの支援を受けられること、税制面の支援を受けられることから、賛成とする。

請願第2号：不同意。核廃絶は核保有国と非保有国の対話の積み重ねの上にある。今なすべきことは、核兵器禁止条約の署名や批准ではなく、双方の対話を進める橋渡し役を担うことであると考え、反対。

岡田耕一
諸 派

路線拡充に対する
新規取得に賛成

議案第71号：賛成。指定管理者制度に移行し、一体的な管理運営を図ることは、市民サービス向上と効率化の観点から評価。現状の維持管理費より安価になることが期待され、利用時間の延長についての考え方も妥当である。

議案第93号：賛成。財産の取得について、おいでんバス車両の更新と路線拡充等による新規取得において、随意契約での落札金額の妥当性、更新車両の環境性能、財政面における旧車両の効果的な処分方法についても確認できたため、賛成。



※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																
			自民クラブ 25名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 4名										
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対									
◆議案																			
第69号	市税条例等の一部改正条例	原案可決	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
70	都市計画税条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
71	体育施設条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	2	2									
72	里山くらし体験館条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
73	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
74	介護保険条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
75	地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
76	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
77	平成30年度一般会計補正予算	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
78	工事請負契約の締結(豊田地域医療センター改築工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
79	// (豊田地域医療センター電気設備工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
80	// (豊田地域医療センター空調設備工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
81	// (豊田地域医療センター給排水衛生ガス設備工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
82	// (花本産業団地拡張事業造成工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
83	// (豊田スタジアムピッチ音響設備改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
84	// (都市計画道路高橋細谷線電宮橋橋りょう整備工事(その2))	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
85	// (美術館展示室等照明設備改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
86	// (市立竹村小学校施設保全改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
87	// (市立元城小学校施設保全改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
88	// (市立若林東小学校施設保全改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
89	// (市立猿投中学校施設保全改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
90	// (市立藤岡中学校施設保全改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
91	// (市立松平中学校施設保全改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
92	// (市立豊田特別支援学校空調設備改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
93	財産の取得(基幹バス)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
94	// (水槽付き消防ポンプ自動車)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
95	// (高規格救急自動車)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
96	// (救助工作車)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
97	// (豊田地域医療センター健診システム機器)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
98	工事請負契約の締結(美術館展示室等改修工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
◆同意																			
第4号	固定資産評価員の選任(新任:中川恵司氏)	同意	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
5	人権擁護委員の推薦(再任:加藤俊明氏はじめ5名。新任:伊藤房治氏はじめ4名)	//	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							
◆請願																			
第2号	核兵器禁止条約の日本の署名と批准を求める請願書	不採択	0	25	0	10	0	4	3	1									
◆報告																			
第6号	専決処分の報告																		
7	継続費等の報告																		
◆陳情																			
第1号	最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書																		
2	適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書																		
3	すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書																		
4	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情書																		
5	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書																		
6	沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書																		
7	客観性・透明性を確保した豊田市中央図書館の評価制度を求める陳情書																		
◆議員提出意見書																			
第1号	「あいち森と緑づくり税」及び「あいち森と緑づくり事業」の継続に関する意見書	原案可決	25	0	10	0	4	0	4	0	4	0							



常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

6月14日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。ほかに陳情2件を報告しました。

【第83号】工事請負契約の締結について(豊田スタジアムピッチ音響設備改修工事)

質問 豊田スタジアムで予定している他の改修工事や開催予定のイベントに影響はないのか。

答弁 現在、メインマスト及びサブトラス修繕工事を行っているが、施工区域が異なるため影響はない。ほかに予定している改修工事については、同じ施工区域での作業となるが、請負業者間で作業の時間や施工範囲の調整を行い、安全かつ効率よく実施するよう調整していく。

また、イベントについては既に各主催者に工事の実施予定について連絡し、開催方法の変更や他の会場での開催などの調整を進めている。

【第93号】財産の取得(基幹バス)

質問 今回取得するバス車両を導入するとよたおいでんバス下山・豊田線の路線改編について地域への説明の方法、また今後利用者に対する周知方法はどのようか。

答弁 路線改編案については、沿線の益富・美里・松平の各地区区長会で説明を行った。また、この路線は通学での利用も多いため、沿線の高等学校にも説明をしてダイヤなどの調整を行った。今後は、広報とよた、市ホームページ、関係自治体への回覧などで利用者及び地域への周知を図っていく。

環境福祉 委員会

6月15日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第78号】～【第81号】工事請負契約の締結(豊田地域医療センターの改築工事)等

質問 豊田地域医療センターの再整備工事中に、診療を行う上で配慮していることは何か。

答弁 来院者の安全確保や、駐車場の確保、騒音・振動・ほりへの対策だと考えている。

安全確保については、誘導員の配置や、明確な動線表示を行う。

駐車場の確保については、隣接する医師会館の駐車場を利用できるようにする。

騒音・振動対策としては、音や振動を感知するセンサーを設置し、基準を超えた場合は工事を中断し対策を講じることや、防音パネルの設置といった提案を契約者から受けており、実施していく予定である。

また、ほり対策としては、防音パネルでの対応に加え、特に既設棟の解体時には、定期的に水撒きなどを行う。

【第97号】財産の取得(豊田地域医療センター健診システム機器)

質問 購入にあたり、メーカーの選定や互換性の確保などは、どのように行ったか。

答弁 医療センター内にある、院長や健診部門の責任者などで構成する健診運営委員会で、メーカーのヒアリングを行い、機器の仕様や向上すべき機能、互換性について検討、整理をした。その後、医療センターの理事や医師会の代表者などで構成する機器選定委員会で協議・選定を行い、その結果を市として検討した上で採用している。

教育社会 委員会

6月18日及び25日、付託された11議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。ほかに陳情1件を報告しました。

【第71号】体育施設条例の一部改正条例

質問 若園運動広場を、高岡公園体育館等との一体運営をすることの具体的な効果はあるか。

答弁 主な効果は3点ある。一つ目は、立地を生かした迅速な対応が可能となること。

二つ目は、公募による競争原理に加え、一体管理によるコスト削減が見込まれること。

三つ目は、スポーツ施設の管理運営のノウハウを持つ業者が管理することで、利用者満足度の向上につながる自主事業が期待できることである。

【第86号】～【第91号】工事請負契約の締結(市立竹村小学校施設保全改修工事)等

質問 保全改修事業が10年を経過するが、整備内容を見直したものはあるか。

答弁 平成20年度から計画的に進めているが、平成25年度から体育館の屋根、外壁の改修及び体育館のトイレの改修を追加した。

また、平成26年度からは、校舎棟の屋根の断熱化、ひさし・ライトシェルフの設置と、教室の照明器具更新にLEDを導入した。

ただし、ひさし・ライトシェルフは今後、エアコンを導入することにより同様な効果があることから、平成29年度から設置していない。

追加項目が実施されていない学校については、平成30年代の早い時期に開始する次期改修工事で実施する予定である。

委員会

地域生活

委員会

6月19日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第94号】～【第96号】財産の取得
(水槽付き消防ポンプ自動車)等

質問 今回取得する水槽付きポンプ自動車及び高規格救急自動車は、緊急消防援助隊の車両として登録されるが、登録の考え方と本市及び県内中核市の登録状況はどのようなか。

答弁 緊急消防援助隊への登録は、市内の災害に対応できる台数を確保し、さらに国内の災害へ派遣可能な台数としている。

本市の登録状況は、平成30年4月現在で、愛知県隊の大隊長の役割を務める指揮車1台を始め、水槽付き消防ポンプ自動車7台、高規格救急車5台など、合計17台を登録している。

また、県内中核市の登録状況は、岡崎市が13台、豊橋市が10台となっている。

質問 第3次豊田市消防整備基本計画では、市が保有する救助工作車は各署1台ずつの合計4台であるが、人口42万を管轄人口とするのに対して不足はないか。

答弁 山間部や市街地など、地域の災害特性に対応するため、各署に特定任務を指定し、現在、4消防署に各1台、合計4台を配備し、管轄区域の災害に対応している。

本市の保有数は、国の指針に沿っており、4台の整備数は適正な水準であると考えている。



救助工作車と水槽付き消防ポンプ車

企画総務

委員会

6月20日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。また、請願1件は不採択としました。ほかに陳情4件を報告しました。

【第69号】市税条例等の一部改正条例

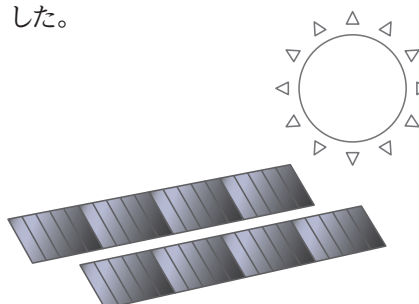
質問 わがまち特例の延長により条例改正を行うものうち、特例割合を国が基準とした参酌割合としなかったものについて、その理由はどのようなか。

答弁 今回の条例改正で、わがまち特例の延長に係るものは全部で14項目あり、そのうち11項目で下限を適用している。

11項目のうち10項目は太陽光発電設備をはじめとする再生可能エネルギー発電設備で、これらは環境モデル都市として再生可能エネルギーの普及を積極的に進めていくことを理由に、従前から下限を採用している。

残りの1項目は水質汚濁防止施設で、従前は参酌割合としていたが、今回から下限としている。理由としては、水生生物の保全に係る全亜鉛の暫定排水基準が適用されている事業者に対し、今後さらなる施設整備が求められること。

また、矢作川水系に排水している事業者においては、法規制値より厳しい排水基準への適応が求められていることから、積極的な施設整備を進めるために、下限を採用することとした。



予算決算

委員会

6月13日から22日にかけて付託された補正予算1件を審査し、全会一致で承認しました。

【第77号】平成30年度
一般会計補正予算

質問 ラグビーワールドカップなどで、今後、多くの外国人が本市を訪れることが想定されるが、路上喫煙禁止区域に関する標示や案内看板への外国語表記については、どのように考えているか。

答弁 現在、中心市街地に存する各種の案内看板は、日本語のほかに、英語、中国語、ポルトガル語、韓国語の4か国語で表示されている。今回設置する案内看板においても同様の表示を予定している。

路面標示については、デザイン化された標示で分かるようにする予定である。

質問 防災ラジオの法人や要支援施設への普及促進に向けた対応はどのようなか。

答弁 市からの情報伝達は、防災ラジオ以外にさまざまな手段を用いて行っており、法人や要支援施設などにおいては、職員の携帯電話等による情報入手が可能である。よって、防災ラジオは、携帯電話の操作に不慣れた高齢者や障がいをお持ちの方などの一般世帯への普及を最優先に考えている。

しかし、災害時には複数の情報入手手段を確保しておくことが重要であることから、一般世帯への販売状況を見ながら対応を考えていく。



市政を問う!

6月11日から13日にかけて、18人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

山田 主成

自民クラブ



- ラグビーWCを契機としたまちづくり
- 地域共生型社会システムの推進

質問 ラグビーWCを契機としたまちづくりの状況

ラグビーWCを契機とした、まちづくりは多岐に渡る。まちづくりの推進に向けたラグビーWCの意義を問う。

答 弁 太田市長

本市の国際化に向け、ラグビーWCを通じたプロモーション活動は非常に重要。都市の国際化や幹線道路整備、スタジアムの機能強化、ボランティアを通じた人づくりなどの取組は、大会後においても期待する効果を発揮し、有益な遺産になる。こうしたレガシーこそ、まちづくりの推進に向けてのラグビーWCの意義であると認識している。「とよたビジョン」に掲げた本市のまちづくりが、市や市民の皆さんはもちろん、国や県、民間企業などが関わって加速していくことが、さらに重要になる。



日本代表戦でのボランティア活動

中村 孝浩

市民フォーラム



- 地域スポーツクラブの推進

質問 地域スポーツクラブの体制と指導者の養成

地域スポーツクラブ指導者登録カード制度、(仮称)スポーツクラブ連合会と市内スポーツ店の協力体制を問う。

答 弁 生涯活躍部

指導者の確保は喫緊の課題と捉えており、新たな対応が必要。議員提案の指導者登録カード制度については、地域の枠を超えた指導者の確保が期待できることから、今後検討する中で参考のひとつとする。(仮称)スポーツクラブ連合会の活動をより効果的に展開していくためには、民間を含めた幅広い協力が必要。今後、運営していくにあたり、民間のノウハウが必要になると判断した場合は、議員提案の市内スポーツ店との連携も参考のひとつとする。

神谷 和利

自民クラブ



- 青少年健全育成の取組

質問 青少年健全育成団体の支援

各団体において後継者不足や参加者の減少による活動の課題を感じる。青少年健全育成団体の将来展望を問う。

答 弁 太田市長

少子化の影響による会員数の減少や、役員等の担い手不足など、様々な課題が発生している。議員紹介の「ボーイスカウト振興豊田市議会議員連盟」のように、青少年健全育成活動の大切さを共有し、活動を応援していくことは、団体の継続や発展に大きな意味を持つ。今後も、青少年健全育成団体の意義や価値を社会全体で共有していくことが重要である。市としては育成団体の皆さんに引き続きの支援はもとより、ますますの発展を願っている。

羽根田 利明

自民クラブ



- 産業の強靱化に向けた用地確保
- 住宅マスタープランの推進

質問 高齢者世帯の定住施策

住宅セーフティネットの早期構築が求められるところ。高齢者世帯の住宅確保への今後の取組を問う。

答 弁 都市整備部

住宅セーフティネットの構築に関しては、平成20年から、愛知県居住支援協議会に参加して高齢者世帯のための住宅確保に取り組んでいる。今後については、より地域の実情に合わせた住宅セーフティネットを構築するため、民間事業者や関連部署と連携して、法改正により設置可能となった豊田市居住支援協議会を設立することにより、住宅確保要配慮者への支援環境を整え、高齢者世帯への住宅確保に努めていく。

鈴木 孝英

市民フォーラム



- 環境構造改革への取組

質問 低炭素社会に向けた広域連携

国内外の仕組みを学び、新たな視点を取り入れることは有意義。先進都市との連携事業に向けた計画を問う。

答 弁 環境部

EUが実施する「国際都市間協力プロジェクト」への参加募集に対して、環境分野を含めた「スマートシティ」を交流テーマの1つとして応募しており、このたび、フランスのグルノーブル・アルプス都市圏とペアを組んで、都市間協力を進めることが承認された。このプロジェクトは、欧州と世界各国の都市が連携し、都市が抱える諸課題の解決に向けて、相互訪問や成功事例の共有等を図ることを目的としたもので、今後、具体的な取組内容や連携スケジュール等を調整する。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

大村 義則

諸派



- 地域包括ケアと認知症対応
- 中山間地域の振興

質問 中山間地域振興をすすめる基本計画と基本条例

市議会が設置した特別委員会から市長に出した提言で示したように、中山間地域振興のための基本計画の策定、基本条例をつくるべきと考える。中山間地域振興基本条例の検討状況と、条例制定についての考えを問う。

答 弁 企画政策部

おいでん・さんそんビジョンで集落機能の維持に向けた取組をしている。山村振興の事業を当ビジョンや第8次総合計画の前期実践計画へ位置付け、おいでん・さんそんセンターに「いなか暮らし総合窓口」を設置するとともに、「定住促進課」や「おいでん・さんそん推進本部会議」を設置。現時点においては、条例制定は考えていない。今後その必要性を見極めたい。

岩田 淳

自民クラブ



- 豊田スタジアムを中心とした魅力あるまちづくり
- 先進的持続可能な交通環境づくりに向けて

質問 中央公園第2期整備事業

都市計画決定までの具体的なスケジュールと事業化に向けた今後の方向性について問う。

答 弁 都市整備部

都市計画決定までのスケジュールとしては、平成30年度は、引き続き市内の検討組織や有識者会議を開催しつつ、市民ヒアリングやワークショップの展開による市民意見やニーズの集約を進めていく。事業推進に向けた会

議を新たに発足し、計画の合意形成を図りながら、都市計画案となる基本計画の作成を平成30年度末までの目標で進めていく。平成31年度末に都市計画決定の告示を予定。平成32年度から実施設計と事業認可手続きを行い、平成33年度以降に用地買収の予定となる。

日 恵 野 雅 俊

自民クラブ



- また訪れたいくなる街づくり
- 中心市街地の水害対策
- 火災予防の推進

質問 住宅の防火対策

高齢者がいる世帯への住宅用火災警報器の設置促進について、具体的にどのような活動をしているのかを問う。

答 弁 消防本部

ひとり暮らしの高齢者に対して、民生児童委員の協力を得て、消防職員が直接訪問し「寝たばこ」や「コンロの消し忘れ」といった防火対策を説明する住宅防火指導を進めている。平成29年度から、住居介護支援事業所に協力してもらい、防火セミナーを受講したケアマネジャーが、高齢者宅に訪問する際に住警器の設置に関するアンケートや火災予防を啓発。平成29年10月に豊田市消防設備士会と協定を締結し、意識の向上を住警器設置に結び付ける取組を進めている。



住宅用火災警報器の啓発キャラクター
モクモクピートくん

岡田 耕一

諸派



- 本市における多様性への理解促進、LGBT支援

質問 早急に取り組むべき課題

男女共同参画条例を制定し、同条例、同プランにLGBTへの理解促進と支援を明記し施策展開すべき。見解を問う。

答 弁 生涯活躍部

LGBT等、性的少数者については、社会的に関心が高まりつつあると認識していることから、市の対応全般について、その必要性も含め、今年度実施する意識調査の結果などを踏まえながら、次期男女共同参画プラン(第4次クローバープラン)の策定の中で検討する考えである。これに基づき男女共同参画の取組を推進したいと考えていることから、現時点では、条例を制定する考えはない。

田代 研

公明党



- 健康寿命対策

質問 肝炎の重症化予防対策

本市の肝炎の重症化予防対策について、最新の肝炎ウイルス検査の受診者数及び啓発の取組状況を問う。

答 弁 保健部

平成29年度の肝炎検診の受診者数は3,905人である。受診啓発の取組としては、毎年3月末にがん検診の受診券を送る際、過去に本市の肝炎検診を受診していない40歳以上の5歳刻みの人を対象に、無料で肝炎検診を受けられる受診券を同封している。また、たとえ受診券が無くても、肝炎の感染不安がある人は、市内105の健(検)診協力医療機関で、無料で検査が受けられる。



市政を問う!

議員氏名
会派名



- 一般質問の大きなテーマ(大項目)
- 以下の質問に関連している項目

桜井秀樹

市民フォーラム



- 豊田市の水道事業の将来像
- 子育てをするならやっぱり豊田を目指して

質問 地域子育てへの取組

「子育てをするならやっぱり豊田」といわれるための切り口で、次期子ども総合計画策定に向けての計画を問う。

答弁 子育て部

第3次子ども総合計画の策定においても、子ども条例の趣旨を継承し、「主役である子どもにとって何が最もよいのか」という観点を軸として、策定作業を進めていきたい。子どもたちが健やかに生まれ育つことは、私たちの共通の願い。その成長を支えていくことは、私たち大人と地域社会全体の責務である。多くの方に「豊田市で暮らしてみたい」と思ってもらえるような魅力的で実効性のある取組につながる計画づくりに努める。

水野博史

自民クラブ



- 豊田市のラグビーWC2019運営方針

質問 観光客に優しいまちづくり

世界大会が控えている中で、決済しやすい環境整備が必要。キャッシュレス決済の推進の考えを問う。

答弁 経営戦略部

キャッシュレス決済は、海外では、経営の効率化や防犯等の観点から普及が進んでいて、海外からの観戦者により多くの消費をしてもらうには、キャッシュレス化は重要なおもてなしのひとつと捉える。日本のキャッシュレス決済の比率は18%で大きく後れを取って

いる。すでに国としてもキャッシュレス化を推進する方向であり、こうした状況を商業者に広報し、端末機の無償化やレンタル制度を検討することで、キャッシュレス化の推進を図る。

大石智里

公明党



- 「よく生き、よく逝く」ために
- 残された家族を支える取組

質問 「よく逝く」をかなえるために

自分の意思を確実に伝えるためのリビングウィル(延命治療の意思表示)の作成と、延命治療についての学びの場の提供について問う。

答弁 福祉部

リビングウィルについては、在宅医療・福祉連携推進計画をフォローするための会議を立ち上げ、その中で、必要性や内容、周知・活用方法について、関係者と協議していく。延命治療については広く市民に情報提供し、理解を深めることが必要であり、出前講座を始め、様々な機会を通じて学びの場を作っていく。

日當浩介

市民フォーラム



- 空き家活用への取組

質問 今後の空き家対策への取組

空き家の利活用に繋げていくことが必要。民間活力を生かした空き家利用への取組についての考え方を問う。

答弁 都市整備部

不動産取引や相続税等の相談に対し関係団体の協力により、専門家による相談会を案内している。民間事業

者からは、過去に自社が開発した住宅地の空き家利活用について相談を受け、市と連携し活用に向けた調整を行っている。民間活力を生かすため、市が収集した空き家情報を可能な限り民間事業者へ提供。空き家所有者等へ利活用を働きかけるため、豊富な情報や知識を有する民間事業者や関係団体と連携強化し活用方法について協議調整していく。

深津真一

自民クラブ



- 地域力の更なる向上を目指して
- 空き家関連の対応状況
- 子どもの安全対策の向上

質問 地域活動の活性化と市民共働活動の展開に向けて

わくわく事業の担い手不足、事業に対する認知度不足といった課題について、今後の促進の取組を問う。

答弁 地域振興部

わくわく事業の課題に対しては、平成30年度に「仮称わくわく交流会」として、現在の事業活動団体や、今後、補助金の活用を検討している団体等を対象としたイベントを計画している。各地域会議においては、地域住民の皆さんへの周知や団体の活動を励ます取組を行っている。こうした取組により、地域に思いをもち、知恵を出し、汗をかく人づくり・団体づくりにつなげ、地域づくりの輪が広がるよう、わくわく事業の一層の促進に努めたい。



わくわく事業 活動の様子



質問 一般質問の小さいテーマ(中項目) **答弁** 回答した部局名
実際に質問した内容(小項目) 質問に対する市の担当部局の回答

根本美春

諸派



- 地域を支える小規模企業者の支援策
- 災害から命を守るための対策を

質問 地域経済活性化に向けた小規模企業振興条例

地域経済の活性化のための小規模企業振興条例の必要性、どう取り組むかを明確にした振興条例の制定について問う。

答弁 産業部

中小・小規模事業者振興策に関しては、振興の意義を捉え、振興策の方針・施策を定め、計画的に取り組むことにより推進していくことは必要だと認識している。本市としては、商業活性化プラン・ものづくり産業振興プランで、その理念・方針に加え、実効的な計画に基づき、具体的な支援を定め、取り組んでおり、現時点では改めて条例を制定することは考えていない。

宮本剛志

自民クラブ



- 枝下用水幹線水路耐震対策
- リニア時代の地域づくり

質問 リニア時代の地域づくり

交通軸としての役割が名鉄三河線に求められている。地域づくりの方向性とリニア時代到来への期待を問う。

答弁 企画政策部

名古屋へのアクセス性の向上は不可欠であり、名鉄三河線の複線化を実現し、時間短縮を図る必要がある。今後、名古屋からの40分交通圏が確立される中で、拠点性を高めていくために、ものづくり・観光交流・定住など幅広い分野で取組を加速化させてい

く。都心地区の更なる魅力アップ、名古屋にはない本市が持つ山村地域の魅力を磨き上げていく必要がある。居住地としての魅力を最大限発揮させるために土地区画整理事業などの定住施策の更なる推進を図っていく必要がある。

塩谷雅樹

市民フォーラム



- 防災減災に向けた取組

質問 雨に強い豊田市への取組

雨に強い豊田市を実現するため、国・県の連携と幅広い庁内連携が必要。総合雨水対策の今後の取組を問う。

答弁 建設部

平成16年3月策定の「総合雨水対策マスタープラン」に基づいて河川改修をはじめとする雨水対策を進めてきた。施設整備には多くの時間と費用が必要であり、近年は施設能力を上回る局地的な豪雨が頻発。このため施設整備のみならず、市民への啓発を主としたソフト対策を合わせた総合的な対策が必要。平成30年度に改定を予定している「総合雨水対策マスタープラン」では、ソフト対策の行動計画を取りまとめ、国県及び関係部局と連携し、総合雨水対策に取り組んでいく。

議員提出意見書

「あいち森と緑づくり税」及び「あいち森と緑づくり事業」の継続に関する意見書

豊田市の市域の約7割を占める約6万3千haの森林は、愛知県の森林の約3割(県内1位)にあたり、矢作川流域の上中流域を占めています。

本市では、平成19年に「豊田市森づくり条例」を制定し、それを踏まえた「豊田市100年の森づくり構想」及び「豊田市森づくり基本計画」を策定し、計画的に森づくりを推進してきました。

特に、豊田市独自の地域森づくり会議方式の団地間伐による、過密人工林の健全化を強力に進めるにあたり、あいち森と緑づくり事業を積極的に活用してきたところで。

しかしながら、森林は広大であるがゆえ、まだ道半ばであり、当面は、景気に左右されない安定的な制度により間伐などの森林保全施策を着実に進めていくことが最も重要で。

豊田市では、平成30年3月にリニューアルした「新・豊田市100年の森づくり構想」及び「第3次豊田市森づくり基本計画」により、更に実行性を上げて森林保全に取り組んでいくこととしています。その中でも、「あいち森と緑づくり事業」は必要不可欠な事業として位置づけています。

つきましては、「あいち森と緑づくり税」及び「あいち森と緑づくり事業」の継続に関して、次のとおり要望します。

記

- 1 森林整備を着実に進めるための安定的な制度として継続すること。
- 2 市町村それぞれの森林整備の進捗や実情を鑑み、現場の意見なども適宜取り入れて更に弾力的な仕組みとすること。
- 3 引き続き、都市緑化や環境学習活動への支援を行うとともに、地域木材の利活用に資する取組を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成30年6月25日
豊田市議会

一般質問とは

議員が市政全般について、事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め又は質問すること。

定例会でのみ行われます。一般質問の順番は、くじ引きによって決まります。

意見書とは

地方公共団体の公益に関することについて、議会がその意思を意見としてまとめた文書です。議会は地方自治法に基づき、地方公共団体の公益に関する意見書を、国会や関係機関に提出することができます。



市議会議員がラグビーワールドカップ2019™をPR

豊田市議会では、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの大会成功に向けた活動を行っています。

6月17日に豊田スタジアムで開催された「愛知・豊田ラグビーフェスタ2018四大学交流戦」において、より多くの方にラグビーの魅力やラグビーワールドカップに向けた取組を知ってもらうため、豊田スタジアムにブースを設置し、ボーイスカウトの皆さんと一緒に来場者へPRチラシの配布を行いました。

また、6月23日に行われた「リポビタンDチャレンジカップ2018日本代表対ジョージア代表」では市民等が一体となった大応援団を結成し、日本代表を応援しました。



▲ボーイスカウトの皆さんと一緒にPRしている様子▲



▲日本代表戦の様子

全国市議会議長会表彰



平成30年5月30日に開催された全国市議会議長会定期総会において、市議会議員を15年以上勤められた7名の議員が表彰を受けました。

6月定例会の開会前に議場において、鈴木章議長から表彰状が手渡されました。

◀写真右から

梅村憲夫議員、杉浦弘高議員、都築繁雄議員、近藤光良議員、日恵野雅俊議員、神谷和利議員、太田博康議員

市議会の予定

9月市議会定例会は8月31日(金)開会予定です

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp>

豊田市議会 検索 「動画で見る」代表・一般質問をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや
会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から
閲覧できるようになりました。

※パケット通信が必要になりますので、
携帯端末等での視聴はWi-Fi環境を
おすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。



豊田市議会は、古紙配合率80%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています